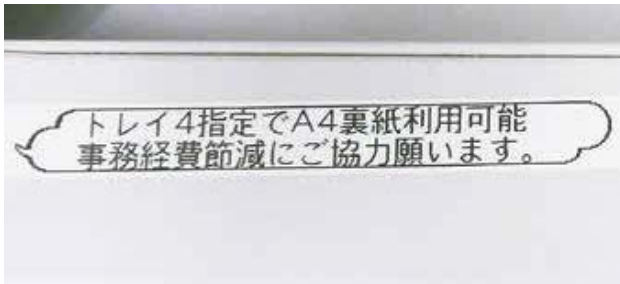


平成30年度 当初予算 総括質疑



2月定例会、2月19日、4会派より議員各1名が、平成30年度当初予算について、市長の予算編成方針等を質疑しました。ここでは、質疑の一部をお伝えします。



▲内部文書に裏紙利用促進（市役所内コピー等複合機）



▲保育成果の充実に期待（平成30年4月開所の私立認可保育園）

平成30年度 当初予算に問う

清風・公明

五ノ井惣一郎議員

- Q** まちづくりには合わせた予算確保は。
- A** 東日本大震災後、復興交付金事業基金を活用する。
- Q** 起業活動の補助金の事業内容は。
- A** 観光・デザイン漁業・子育て支援・コミュニティ支援。
- Q** 人口減少対策・雇用対策・商工観光振興の予算確保は。
- A** 創業支援策を含めた中小企業・小規模企業の振興支援策の予算を計上している。
- Q** 待機児童対策・私立認可保育園・子育て支援環境整備は。
- A** 待機児童解消は最優先事項。若い世代が仕事と子育てを両立できる環境を充実させる。

平成30年度 予算編成について

市民クラブ

大橋 博之議員

- Q** 今後の維持管理経費が増加していくと考えられるが財源は。
- A** 公共施設等の管理運営の手法について再検討する。
- Q** 創生総合戦略の具現化に向けた各種事業の予算は十分か。
- A** 基本目標ごとに全体に予算計上。変化に対応できるように農業関連予算は編成されているか。
- Q** 新たな生産調整およびPPP問題対策。
- A** 商工費について
- Q** 企業誘致の推進、市内雇用の創出、観光交流人口の拡大に向け対前年比20%増の編成。今後の歳入歳出のバランスは。
- A** 大変厳しい現状。

各種会計の 具現化について

復興クラブ

上田 勉議員

- Q** ①地域おこし協力隊補助金②ウェルネス保育園矢本への支援体制③航空祭支援④夏休み短縮と学力向上策⑤ICT教育の充実⑥パークゴルフ場の管理運営⑦復興交付金の残高予想
- A** ①隊員全員定着を目指し、起業活動に要する経費等を対象。②協力体制に万全を期し、市主催研修会等参加機会を確保。③引き続き日本一の航空祭を目指す。④英語授業の増加補充および個別対応などに充当する。⑤新校舎建設に合わせ環境整備し、32年度までに完了する。⑥市が一体的に行うことについて県と協議中。⑦年度末における残高は、約85億円程度。

平成30年度 の予算執行に関して問う

清新会

滝 健一議員

- Q** 国の希望出生率1.8の実現は困難と思われるがどうか。
- A** 各課題に取り組み、国の希望出生率1.8の目標達成を目指す。
- Q** 次期定例会あたりからの補正予算の対応はどう考えるか。
- A** 当初予算確保に至っていない事業でも事業実施は遅滞なく進められるようにする。
- Q** 行政内部経費の抑制策について。
- A** 必要物品の一括購入、省エネとエコ推進、事業経費の抑制。観光事業のさらなる発展多様化を。
- Q** 東京五輪のホストタウンや松島湾、ダイラント、宮城オルレ等での誘客を進めていく。